

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立三谷小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
所在地 〒920-0153 石川県金沢市宮野町二277  
E-mail mitani-e@kanazawa-city.ed.jp  
Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/mitani-e/  
児童生徒数 男子 25 名 女子 24 名 合計 49 名  
児童の年齢 6 歳～ 12 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### (1) 活動の概要

当校は、「ぐるっと三谷 世界へ そしてまたふるさと三谷へ」を学校テーマとして、E S D を「人や自然との触れ合い・体験を通しての学習・生命への畏敬・自然への感受性を深める活動」と捉え、E S D の実践を通して持続可能な社会の担い手の力の育成を目標とした。

具体的には、地域、人、自然、国際理解を柱に、①米や野菜づくりに係わる活動、②四葉太鼓に係わる活動、③地域の人と係わっての学習、④国際理解につながる学習や活動を行った。

#### ① 米や野菜づくりに係わる活動

五年生が中心となって、全校児童で、米づくりをした。地元名産の打木赤皮甘栗かぼちゃをはじめ、苺や大豆、薩摩芋など十数種類の野菜を栽培した。秋には、年間指導を受けた田畑の先生やお世話になった地域の方々を招い収穫祭 (「秋だ! 実りだ! 味わおう会」) を主催して、お世話になっている方々に感謝し、収穫の喜びと地域の方々とつながって生きることの充実感を分かち合った。

## ② 四葉太鼓に係わる活動

地域の方々から和太鼓を習い、校内外の様々な行事や施設訪問をして演奏活動をしている。本年度も、一二年生は「花太鼓」と「夢（ドリーム）」を、三年生以上は「四葉の響き」を演奏した。入学式、地域の盆踊り、公民館の文化祭、台湾甲中小学校来校の歓迎、地域の施設への訪問演奏など、地域文化の継承を学校生活の充実や地域貢献、国際理解など、よりよい社会作りに参加し、学びを生かして喜ばれる体験を継続的に積み重ねることができた。

## ③ 地域の人と係わっての学習

宮野保育園とは年間を通して交流している。双方の運動会や保育園夏祭りへの参加、低学年の生活科「なかよしおみせやさん」での交流学习など、自然な保小連携を心がけ、児童も演じも交流を楽しみにしている。

年二回、山間部にある本校と市の市街地にある中村町小学校を行き来し、校区の様子や特色の比較を、体験活動を通して学ぶことができた。

八月九日に平和についての学習をしている。当時の様子を学んだり、自分たちの生き方について考えたりして、平和を守る大切さを実感した。

本年度、六年生では「輝け！三谷プロジェクト」として、地域の活性化と学校の存続を願って、地域へのアンケートと六年間の学びをフル活用して考えた提案を、地域の方々に、直接または公共テレビ放送を通じて発信した。

## ④ 国際理解につながる学習

台湾の甲中小学校とグリーティングカードや写真などを送り合って、学校の様子などを伝え合っている。本年は、七月に、甲中小学校の訪問団を迎え、親睦を深めることができた。

六年生は兼六園などの名所を見学し、英語で案内する体験活動をした。



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 行事、社会、道徳、音楽、課外 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・ 和太鼓（締太鼓、長胴太鼓、平太鼓、鐘、拍子木、半被、着流し）
- ・ 梓木（田用）
- ・ 兼六園ホームページ (<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/kenrokuen/>)
- ・ 兼六園見所マップ (<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/kenrokuen/point.html>)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校管理運営計画に、本校の教育目標を達成するための中期重点目標として「三谷の伝統を受け継いだ学び」の発信を掲げ、ユネスコ活動を意識した教育活動を推進している。

本年度重点努力目標の具体的方策では、①学力の向上をめざす、②思いやる心を育てる、③心身ともに健やかで、健康な学校を目指す【心、食、動、体】、④よりよい教育環境づくりをめざす、⑤家庭・地域とのより強い絆づくりをめざすの五本を柱として、生活科や総合的な学習を中心としながら、学校教育活動の様々な機会を利用して、ユネスコ活動につながる学びの場を設けている。

ユネスコ活動の年間計画一覧表と実施記録を基に、計画や実績と児童の実態、支援体制等を総合的に判断しながら活動を展開している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ユネスコ活動年間計画と実施記録の共有。次年度への引継ぎと助言・支援。ユネスコ活動に係わる方々への、児童からのお礼の手紙や感謝の会や行事の実施とプレゼント渡しなど、年間を通して関わっているため、支援者の方々は、児童の活動に係わることを楽しみにし、継続的支援体制の確立や環境づくりに、すすんで助言や協力をしてくれる長期支援者が多くいる。支援者の引継ぎに関しても、主体的に行ってくれる。活動の足跡を掲示して残すなどして、他学年の活動を知り、自分の来年度の活動の見通しをもつことができる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

職員会議などによる全体計画と実施記録の共有や意見交換、随時、教職員や地域支援者との情報・意見の交換と計画の修正を行っている。

ユネスコ活動については、学校ホームページ、学校便り、学年便りなどで保護者や外部に発信され、時々地元メディアでも取り上げられている。

本校のユネスコ活動については、学校評価委員会や育友会実行委員会などで高い評価をいただいた。

これから先に予想される児童減少に伴って、活動の継続が心配されるものや、活動の在り方を見直す必要があり、今後の対応が必要である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

活動成果の発信は、学校ホームページ、学校便り、学年便り、公民館広報が主であった。本年度は新聞とテレビの取材があり、掲載・特別番組が組まれた。

本校ホームページのアクセス数が増加、学習の足跡を公民館に展示して、地元の会合で紹介されるなど、本校のユネスコ活動への地域の関心が高まった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

本年度は、宮野保育園、三谷公民館、森本中学校、ときわ苑、竹俣友愛の家、もりもと民謡会、中村町小学校、台湾甲中小学校、兼城亭(兼六園案内)、鼓秀会など連携して活動を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特に意識して行っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

全校での米づくりや感謝祭や太鼓演奏など、学年の枠を越えた単位での取り組みが多いことで、思いやりをもつことや協力の大切さなどの意識が育っており、全員が進んで活動に取り組んでいる。

六年生の「輝け！三谷プロジェクト」では、主体的な調べ活動（地域へのアンケート）と集計からの分析、提案と議論があり、思考がアクティブな状態で単元が継続した。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

本年度の活動計画とほぼ同じであるが、児童数の減少により、各活動の取り組みが、学年合同になったり、簡略化されたりすることが予想される。支援者との協議や今後の話し合いによって、年度当初または随時決定していく。